

# 川崎市視覚障害者情報文化センター 2020 年度事業計画

川崎市内の視覚障害者のQOL(生活の質)の向上を目指し、市内全域にサービスを展開する。

## 重点項目

- (1) 視覚障害用図書は、川崎の読者の趣向を反映するように努める。
- (2) 相談・訓練については、ここ数年、長期的な訓練よりも短期的な相談ニーズが強い。そのニーズに合わせてスポット的な要望に応じていく。また、市内全域にスピード感を持って対応できるよう努める。
- (3) ボランティアと連携、協力し、図書製作、養成講座、イベント等を開催する。
- (4) 読書バリアフリー法施行に伴う公共図書館の障害者サービス推進の動きに積極的に協力する。
- (5) 音声ガイド付きDVD映画体験上映会、読書会、ヨガ教室、コンサートなどの文化イベントを開催する。
- (6) 見えにくくなった人が早期にセンターとつながるよう眼科医に積極的に広報を行なう。また、各区の障害者相談支援センターを訪問し、当センターのサービスを伝えていく。
- (7) 防災・減災の対策を進める。

## 計画

- (1) 資料の閲覧・貸出
  - ① 約 760 人(個人・団体)の利用登録者に対し、点字図書は年間 270 タイトル、録音図書はシネマ・デイジーを含め年間 9,790 タイトルの提供を目指す。
  - ② ダウンロードサービスにより点字・録音合わせて年間約 2,030 タイトルの提供を目指す。
  - ③ 点字雑誌は年間 250 タイトル、録音雑誌は年間 4,520 タイトルを提供し、総貸出数 16,590 件を提供する。
- (2) 資料製作
  - ① 利用者の趣向に加え、川崎らしさの視点を加えた図書選定を行い、点字図書は年間 40 タイトル、録音図書は年間 100 タイトルの製作をする。また、テキストデイジー図書 10 タイトルの製作を行う。
  - ② 視覚障害者が映画を楽しむことができるシネマ・デイジーを 20 タイトル製作する。
- (3) 点訳者・音訳者・音声ガイド製作者の養成
  - ① 2020 年度は音訳者養成講座を実施する。また、活動中の点訳者・点訳校正者を対象としたスキルアップ研修会を開催する。
  - ② 映画の音声ガイド製作ボランティアのスキルアップのために、製作過程において必要な指導を行う。

- (4) 読書バリアフリー法施行に伴い、視覚障害者等が公共図書館を円滑に利用できるように障害者サービスを推進することが予想される。そのような動きに積極的に協力する。
- (5) 訓練事業の取り組み
- ① 2019年度からの訓練継続者を含め、50名に歩行、生活、コミュニケーションなどの各種訓練を520回行う。
  - ② 訪問指導や来所指導といった短期間での訓練指導、用具の操作指導などを延べ430回実施する。
  - ③ 最新機器、メイク方法などの情報ニーズに応えるため、セミナー・展示会等を開催する。
- (6) 視覚障害者用具の展示と斡旋
- ① 視覚障害者のための日常生活用具と便利グッズの主なもの、最新機器などを展示し、斡旋販売を行う。また、補装具・日常生活用具の制度や申請の方法を積極的に周知していく。
  - ② 訓練と連携を密にし、訓練生にこれらの用具を紹介することでQOL(生活の質)の向上を図っていく。また、合わせて図書の利用にも繋げていく。
- (7) ボランティアとの連携・協力
- ① 点字・録音図書・テキストデイジー、音声ガイドをボランティアの協力を得て、製作する。
  - ② 音訳養成講座をボランティアと連携し、開催する。
  - ③ センターまつりをオブリガード(川崎市視覚障害者ボランティア連絡会)、川崎市視覚障害者福祉協会と協働し、運営を行う。
- (8) 啓発普及について
- ① 偶数月発行の新刊情報誌「ぶっくがいど」に加え、メールマガジン(2回/月)で最新の情報をいち早く伝えるとともに、奇数月には「川崎アイ eye センターだより」を発行し広報活動に積極的に取り組んでいく。
  - ② 事業報告会を開催し、センターの事業を各区の高齢・障害担当に広める。
  - ③ 小中学校から依頼のある視覚障害の啓発に関する授業には、可能な限り講師を派遣する。
  - ④ 隣接するこども文化センターと連携し、児童・生徒に対して視覚障害の啓発イベントを開催する。
  - ⑤ 地域の眼科医と連携し、見えにくくなった方がセンターと早期につながる事ができるよう、連携を深めていく。また、市内の障害者相談支援センターを訪問し、センターのサービスを伝えていく。
- (9) 文化的事業を開催する。
- ① 毎回多数の来場者のある音声ガイド付きDVD映画体験上映会(毎月開催)を土曜以外の平日にも数回開催し、より多くの視覚障害者が映画を楽しめるようにする。

- ② 図書の貸出利用者同士の交流を兼ねて、一つの本を読み感想を述べあう読書会を年2回開催する。
- ③ ヨガの教室は希望者が多いので、2020年度はレベルアップクラスを増設し、受け入れ可能人数を倍に増やし2月、8月を除いて毎月開催する。
- ④ 「れきおんクラブ」（奇数月開催）、音楽コンサート・落語などのイベントを年2回開催する。

(10) 防災・減災対策の推進

- ① 発災時にセンター内にいる利用者、支援者、職員の安全、安心を確保するため、定期的に防災訓練を行う。
- ② 川崎区近隣の避難場所や給水地点の確認、川崎区の災害情報などを入手し、平時から災害に備える。
- ③ 台風などの風水害時には、迅速に対応できるよう被害情報を的確に入手するよう努める。

**参 考**

2020年度(計画)

(1) 資料の閲覧・貸出

① 利用登録者数	480名
(内 新規登録者数)	20名
② 利用登録団体	285施設
③ 点字図書の蔵書数および貸出・提供	
蔵書数 (タイトル)	3,100タイトル
(冊数)	11,300冊
蔵書数の変化 (新収書)	150タイトル
500冊	
貸出数 点字図書	270タイトル
680冊	
(内 他館借受)	(20タイトル)
(80冊)	
点字雑誌	250タイトル
④ 録音図書の蔵書数および貸出・提供	
(ア) 蔵書数 (タイトル)	5,400タイトル
(枚数)	5,400枚
(イ) 蔵書数の変化 (新収書)	200タイトル
200枚	
(ウ) 貸出数	
● カセットテープ	20タイトル
80巻	
● CD図書	9,000タイトル
(内 他館借受)	(5,700タイトル)
● シネマ・デイジー (含む 音声ガイド)	500タイトル
● カセットテープ雑誌	30タイトル



	パソコン訓練	12名・・・100回
	ICT訓練	6名・・・50回
	点字訓練	3名・・・50回
	生活訓練	4名・・・20回
② 相談者数		150名
	相談回数	430回
	内訳（複数提供あり）	
	歩行相談	50名・・・130回
	パソコン相談	25名・・・100回
	ICT相談	15名・・・60回
	生活相談	60名・・・140回
③ 訓練生交流会(ぶらぶら会)	開催数	4回
④ 訓練生屋外交流会	開催数	1回
⑤ 用具の展示と斡旋	展示点数	400点
	斡旋点数	1,400点

## (5) 啓発普及

① 事業報告会の開催		
	訓練事業説明会	7月 1回
② イベントの開催		
● 音声ガイド付きDVD映画体験上映会	毎月開催	12回
● 音声ガイド付きDVD映画体験会	平日映画会の開催	4回
● 歴史的音源を聴く会「れきおんクラブ」	奇数月開催	6回
● チャレンジド・ヨガ教室	2月、8月を除き毎月開催	10回
● ヨガ教室レベルアップクラス	2月、8月を除き毎月開催	10回
● 音楽コンサート等のイベント	5月、2月	2回
● 読書会	6月、2月	2回
● 川崎アイ eye センターまつり	12月	1回
③ 広報誌の発行		
● ぶっくがいど(偶数月)		6回
● 川崎アイ eye センターだより(奇数月)		6回
● メールマガジン「アイ eye」(2回/月)		24回